

# 「自分の暮らしと世界のつながり」 プログラム

NPO 法人ゆいツール開発工房製作

## ● ねらい／テーマ

自分たちの暮らしと世界の出来事が密接につながっていることに気づき、地球の別の場所に暮らしている人たちの未来と自分の未来を重ね合わせて考えてみることで、持続可能な暮らしを模索するきっかけをつかむ。

## ● 概要

「無印のノート」「インドネシア製のコピー用紙」「パーム油を使ったせっけん」「パーム油を使ったお菓子」など自分の暮らしに身近にあるものと、熱帯の森の問題をつなげて考えてみることで、生物多様性の喪失、野生動物の絶滅の危機、森とともに生きてきた人々の暮らしの変化などを、自分の暮らしの延長に置いて考えてみる。持続可能な暮らし、自分の未来を選び取っていくための土壌作りとしてのプログラム。

対象年齢：小学5年生以上

所要時間：約 80分

人数：指導者 1 名あたり、参加者 40 名程度。

## ● 準備物

- ・ 世界地図
- ・ 黒板やホワイトボードなどマグネットが貼れる場所

本プログラムに関するお問い合わせは [center@osaka-midori.jp](mailto:center@osaka-midori.jp) までお願いします。

プログラム所有権：「大阪府地球温暖化防止活動推進センター」

プログラム著作権：「NPO 法人ゆいツール開発工房」

本プログラムを協働開発した「NPO 法人ゆいツール開発工房」についての詳細は

<http://www.digitalium.co.jp/yuitool> をご参照ください。

● プログラムの進めかた

<p><b>0. 準備をしよう</b> 道具類を揃え、プログラムを行う場のセッティングを行う。 グループを作って着席してもらおう。</p>	
<p><b>0.5 あいさつ</b> 「今日は、自分の暮らしと世界のつながりについて考えていこうと思います」</p>	
<p><b>1. 導入：この生き物が暮らす島はどこだろう？ (5分)</b>  黒板の脇に世界地図を貼る。 <b>例)</b> 「今から、ある地域に生息する生き物の写真を見てもらいます。世界地図も一緒に見て、どのあたりに暮らしている生き物か考えてみてください」 生き物の写真を見せて、生息している地域を考えてもらおう。(一枚一枚ゆっくりと見せながら、これはなんだろう？と子どもたちとやりとりする。) ※ヒント： 「赤道直下の熱帯地域 (ジャングル) の生き物です」 「日本よりも大きな島です」 「アジアの地域です」 途中で、「○○○○島」のフリップを貼る。 <b>例)</b> 「○○○○に入る言葉はなんでしょう？」 ⇒スマトラ (一部の生き物はボルネオ/カリマンタンにも生息している) ⇒地図でスマトラ島の位置を確認する。(インドネシアの島であること) ⇒ボルネオ/カリマンタンはインドネシアとマレーシア (及びブルネイ) の島であることもあわせて伝える。 <b>例)</b> 「これらの生き物はスマトラ島に生息しています。一部の生き物は、ボルネオ (カリマンタン) 島にも生息しています」  生き物の説明 (生き物についての情報は、参考資料 1 及び参考図書「Rain Forests」を参照) 「スマトラトラ」「ラフレシア」「アジアゾウ (スマトラゾウ)」「ショクダイオコンニャク (スマトラオオコンニャク)」「スマトラサイ」「マレーグマ」</p>	<p>世界地図 生き物の写真 「スマトラトラ」 「ラフレシア」 「アジアゾウ (スマトラゾウ)」 「ショクダイオコンニャク (スマトラオオコンニャク)」 「スマトラサイ」 「マレーグマ」 フリップ 「○○○○島」  ★参考資料1 ★参考図書 「Rain Forests」</p>

<p>2. 本体1：スマトラ島やボルネオ島と日本のつながり（15分）</p> <p>例)「今度は、この島と日本のつながりを見ていこうと思います。」</p> <p>いくつかの製品を各グループに配る。</p> <p>○「無印のノート」などインドネシア製の紙製品</p> <p>○「パーム油を使ったお菓子」、「パーム油を使ったせっけん」など</p> <p>ポイント：下記を確認する。</p> <p>ノートを開くと&lt;インドネシア製&gt;と書いてあること。</p> <p>同じく、&lt;植林木&gt;と書いてあること。</p> <p>コピー用紙（B5）は、前に置いて紹介する。</p> <p>せっけんとお菓子の箱には、&lt;植物油脂&gt;（もしくはパーム油）という言葉が書いてあること。フリップを貼る。</p> <p>例)「紙は何からできているのでしょうか？そう木から作られます。みんなの使っているノートは、どこの木を切ったものなのでしょうか？今配ったノートは、インドネシアの森の木から作られています」「このコピー用紙も、同じくインドネシアの森の木から作られています」</p> <p>例)「せっけんやお菓子には、“パーム油”が使われています。パーム油と表示していなくても、“植物油脂”と書いてあった場合、たいていパーム油が使われています。パーム油は、インドネシア（主にスマトラ島）やマレーシア（主にボルネオ/カリマンタン島）で多く作られています」</p> <p>例)「では、インドネシア製の紙や、パーム油がやってくる向こう側を覗いてみましょう。」</p> <p>例)「これらの写真は、何の写真でしょうか？あるいは何が起きているところでしょうか？紙やパーム油と関係があるのでしょうか？」</p> <p>黒板に現地の写真（①～④）を貼り、各グループにも①～④の写真を配る。グループで話し合いながらそれぞれの写真を見て、ワークシート(グループに1枚)に記入する。</p> <p>●現地の写真パネル（写真はすべてスマトラ島で撮影）</p> <p>①「森林伐採の様子」</p> <p>②「紙パルプのためのプランテーション」</p> <p>③「木材を積んだトラック」</p> <p>④「アブラヤシプランテーション」「アブラヤシの実」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「殺されたトラ」・・・プログラム実施者のみ</li> <li>・「殺されたゾウ」・・・プログラム実施者のみ</li> </ul>	<p>スマトラ島やボルネオ島と日本のつながりを示す製品:「無印のノート」「コピー用紙」などインドネシア製の紙製品と「パーム油を使ったお菓子」、「パーム油を使ったせっけん」など</p> <p>フリップ</p> <p>「<small>しよくふつゆし</small>植物油脂(パーム油)」</p> <p>ワークシート「紙とパーム油の向こう側」</p>
---	--

<p><b>3. 本体2：私たちの暮らしと世界のつながり (20分)</b></p> <p>写真を見て気づいたこと考えたことを共有する。          いくつかのグループの代表者に発表してもらおう。</p> <p>写真の解説を行う。(参考資料2を参照)</p> <p><b>例)「では、それぞれの写真が何を表しているのか、順番に見ていきましょう」</b></p> <p>そのときに、できるだけ子供たちに質問を投げかけて、写真に写っているものと、自分自身が関係あることを意識してもらおう。</p> <p>そして、スマトラ島やボルネオ島では今どんなことが起こっているか問いかけ、「森林がどんどん減ってしまっている」という言葉を引き出す。</p> <p><b>例)「森がなくなるとどんな問題が起こるのでしょうか？例えば、こんなことが起こっています」</b></p> <p>「殺されたトラ」「殺されたゾウ」の写真を、①～④の写真の上、もしくは少し離れたところに貼る。</p> <p>子供たちとやりとりしながら、写真の解説を行う。(参考資料2を参照)</p> <p><b>例)「では、現地で起こっていることと私たちの暮らしを実際につなげてみましょう」</b></p> <p>黒板に貼った①～④の写真の下にマグネット付トレイをセットして、写真とトレイを線でつなげる。</p> <p>写真1枚1枚について、各テーブルに配った「ノート」や「せっけん」「お菓子」のどれとつながるか、子どもたちに問いかけて何人かにひとつずつ製品を持って前に来てもらって、つながっていると思う写真の下にセットしたトレイに入れてもらう。</p> <p>①「森林伐採の様子」・・・ノート、せっけん、お菓子          ②「紙パルプのためのプランテーション」・・・ノート          ③「木材を積んだトラック」・・・ノート          ④「アブラヤシプランテーション」「アブラヤシの実」・・・せっけん、お菓子</p> <p>子供たちが持ってきた製品の確認をして、つながっている写真の上(もしくは殺されたゾウやトラの写真の近く)に、フリップ「たくさんの生き物が生きていけなくなる(生物多様性が失われる)」を貼る。</p>	<p>★参考資料2</p> <p>★バックデータ</p> <p>・「スマトラ島の生態系保全」WWFパンフレット</p> <p>・パーム油に関する資料</p> <p>・インドネシアの紙問題に関する資料</p> <p>フリップ</p> <p>「たくさんの生き物が生きていけなくなる(生物多様性が失われる)」</p>
--	---

<p>例)「どうですか?私たちの暮らしは、どんなこととつながっていましたか?」</p> <p>子供たちの声を拾う。</p> <p>例)「この時間は、私たちの身近にある製品が世界のどんな出来事とつながっているか見てきました。休憩(休み時間)をはさんで、今度はスマトラ島の森に暮らす人たちの暮らしを見ていきたいと思います」</p>	
<p>休憩(10分)</p> <p>前半で使った写真や道具を片付ける。</p> <p>ワークシートも回収する。</p>	
<p>4. 本体3:それぞれの未来(35分)</p> <p>&lt;森に暮らす人々の未来&gt;(15分)</p> <p>例)「先ほどは、紙やパーム油がやってくる向こう側の現実を見てきました。」</p> <p>例)「では次に、スマトラ島の森の中に暮らす子供たちの生活を見ていきましょう」</p> <p>ポイント:写真を配ったら、すぐ次の説明にいかずに、子供たちが写真を見た感想などを拾う。</p> <p>○「村の子どもたちの写真」を黒板に貼り、各グループにも配る。</p> <p>「この写真に写っている黄色いシャツの男の子の名前は“タレス”くんと言います」</p> <p>「タレスくんが住んでいる村は、国立公園の中にあります。スマトラ島には今、国立公園や保護地区などにしか豊かな森は残っていません。それ以外の森は、さっき見たようにパーム油や紙パルプのためのプランテーションに姿を変えてしまいました」</p> <p>○「国立公園の森の写真」を黒板に貼り、各グループにも配る。</p> <p>「これが、タレスくんが住んでいる村のある、国立公園の森の様子です。」</p> <p>(スマトラトラやマレーバク、マレーグマなどの大型の哺乳類のほかに、嘴が大きなサイチョウと呼ばれる鳥、最初に見てもらったラフレシアなどの独特の植物、さまざまな生き物が暮らしています。サルの仲間は6種類も見られます)→生き物については、書籍「Rain Forests」を参考のこと。</p> <p>○「村の様子写真」を黒板に貼り、各グループにも配る。</p> <p>「これがタレスくんの村です(どんな様子ですか?)」</p> <p>できるだけ子供たちに想像してもらおう。</p>	<p>写真</p> <p>①村の子どもたち</p> <p>②国立公園の森</p> <p>③村の様子</p>

<p><b>情報</b> 自給自足。昔は、あるものだけで満足していた。今も、電気なし。水道なし。ガスなし。体を洗うのは川で。飲み水もその川から持ってきて沸かして飲む。薪を燃やす。最近ではガソリンで動く発電機で電気をおこしてテレビを見る人もいる。インドネシアのテレビ番組を見て、街にあこがれている。</p> <p>○「ゴムの木の写真」「焼畑の写真」を黒板に貼り、各グループにも配る。 「この木はなんだと思いますか？この白い液は、タレスくんの家族や村の人にとって貴重な現金収入を得るためのものです。」「タレスくんの両親や村の人たちは、伝統的に焼畑をして暮らしています。(焼畑ってなんだろう?)」(木を切って燃やしてその灰を肥料にして2,3年陸稲(りくとう/おかぼ)や野菜などを育てたら放棄して、別の場所へ移る農法のこと。10年以上たつて樹木が育ったらまたその土地を焼き畑にすることが可能)</p> <p>○「勉強している子どもたちの写真」を黒板に貼り、各グループにも配る。 「この村にはちゃんとした(公立の)学校がありません。NGOがやとった先生が、ときどき村で教えています。タレスくんは勉強が得意で、先生が教えたことはすぐに理解してしまいます。」(NGOとは?お金もうけを目的とする企業と違って、社会のために必要だと思うことを自分達の意味で行っている団体のこと。)</p> <p>「タレスくんのお父さんお母さん、村の大人たちは読み書き計算ができません。読み書き計算ができないと、市場に行ってもだまされてしまったり、大切な文書を読んで確認したりすることもできません。だから、タレスくんのお父さん(実は最近村長さんになった)や村の大人たちは自分の子どもにはぜひ教育を受けさせたい、と思っています」</p> <p>フリップ「村に暮らす人々の未来」を黒板に貼る。 例)「そんな彼らが望む未来はどんなものでしょうか？」 子どもたちとやりとりをして、想像してもらおう。(子供から出た意見や、下記について説明しながら、ひとつひとつ黒板に書く)</p> <p><b>彼らが望む未来</b> 豊かになりたい。街のような暮らしがしたい。お金がもっと欲しい。そのためにもっともっとゴム園を拓げたい。</p> <p>⇒例)「焼畑のあとゴムの木を植えるので、ゴムの樹液が取れる30年くらいはその場所をまた焼畑にすることはできません。今、村の人た</p>	<p>④ゴムの木 ⑤焼き畑  ⑥勉強している子どもたち</p> <p>フリップ 「森に暮らす人々の未来」</p> <p>★バックデータ ・JANNisI ニュースレター(山本かおり)</p>
--	---

<p>ちは、どんどん新しい場所に焼畑・ゴム園を拡げています。つまり、国立公園の中の豊かな森がどんどんゴム園に変わろうとしています。」 ⇒例)「村の人たちは、森は昔からあったので、森がなくなるということが想像できません。また、タレスくんの両親も他の村の人たちも、お金をそんなに持っていないので、大きな街に行ったこともありません。つまり、森が全然ない場所に行ったことがないので(テレビで街の様子を見ることはあっても)、森がなくなるとどうになってしまうのか、本当の意味で理解できません。」</p> <p>例)「タレスくんが大人になったとき、この村や森はいったいどうなっているでしょう？」 子供たちに想像させるように問いかける。やりとりをしてもよい。</p> <p>&lt;日本で私たちは、どんな未来を選び取っていくのか?&gt; (15分) 例)「では、日本に暮らす私たちは、どんな未来を選び取っていけばいいのでしょうか。」 フリップ「私の未来」を黒板に貼る。 例)「今から配るワークシートに、自分の暮らしを振り返った感想と、未来の暮らしについて、書いてみてください。」</p> <p><input type="text" value="今の私の暮らしは?"/> <input type="text" value="未来の私の暮らしをどうしたい?"/></p> <p>&lt;共有&gt; (5分) 項目ごとに、何人かに発表してもらおう。</p>	<p>フリップ 「私の未来」</p> <p>ワークシート「私の未来」</p>
<p><b>5. まとめ(5分)</b></p> <p>私たちの暮らしは、自分たちが意識していなくても世界中の出来事とつながっている。そこには、森林破壊や生物多様性の減少といった環境問題だけでなく、貧困、紛争、不平等な貿易など、簡単には解決できない課題がある。実のところ、これらの課題とどう向かい合っていけばいいのか、大人でも途方に暮れてしまう人がたくさんいる。</p> <p>私たちは未来を選択することができる。私たちとつながっている、世界の課題に責任を持って、未来を選択していくことが大切である。</p>	

このプログラムは、地球環境基金の  
助成を受けて、製作されました。

